

平成25年度環境とやま県民会議 事業報告

1 統一活動

私たちは、廃棄物などの身近な問題から地球温暖化をはじめとする地球的規模の問題に至るまで様々な環境問題に直面している。これらの環境問題に適切に対応し、本県の素晴らしい環境を次の世代に引き継ぐためには、私たち一人ひとりが、環境について学び、ライフスタイルや事業活動のあり方を見直し、少ない資源、少ないエネルギーで生活する循環型社会と低炭素社会づくりを目指して行動していくことが求められている。

こうしたことから、当県民会議では、これまで「ノーレジ袋県民大運動」の取組みを通じ、県民のエコライフの定着・拡大を推進してきたが、運動開始から5年を経過し、取組みが定着・拡大してきたことから、平成25年度から新たに、レジ袋の無料配布廃止に加えて資源物の店頭回収、低炭素化等の取組みを推進する「とやまエコ・ストア制度」の普及・拡大を掲げ、県民のエコライフの定着・拡大を呼びかけた。

当県民会議では、①「循環型社会と低炭素社会づくりの推進」、②「とやま節電・省エネキャンペーン」、③「環境教育・環境保全活動の推進」を事業の柱とし、これらを中心として、県民、企業、民間団体、行政が情報を共有し、一体となって事業を展開した。

2 事業内容

(1) 循環型社会と低炭素社会づくりの推進

<循環型社会づくり>

① とやまエコ・ストア制度普及・拡大事業の実施

- ・主 催 とやまエコ・ストア連絡協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団(富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・実施時期 平成25年4月～平成26年3月
- ・内 容 消費者と協働で環境配慮行動に積極的に取り組む小売店舗を登録する新たな制度を創設し、本制度の運用開始を記念したオープニングセレモニーやレジ袋削減5周年／とやまエコ・ストア制度記念シンポジウムを開催するとともに、街頭や店頭で制度の普及啓発を行うなど、県民のエコライフの定着・拡大を推進した。
- ・実 績 登録状況(事業者:60事業者、店舗数:989店舗、平成26年3月現在)

② とやま環境フェア2013の開催

- ・主 催 とやま環境フェア2013開催委員会
(富山県、富山市、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団(富山県地球温暖化防止活動推進センター))
- ・実施時期 平成25年10月19日(土)、20日(日)(3R推進月間)
- ・会 場 富山市南総合公園体育文化センター(富山市)
- ・内 容 水と緑に恵まれた富山県の豊かな環境を守るとともに、よりよい環境を創造するため、循環型・低炭素・自然共生をテーマとした各種展示や実演、発表等を行い、環境保全活動の啓発を行った。
- ・実 績 2日間で約9,700名参加

③ごみゼロ推進県民大会の開催

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議
- ・実施時期 平成25年10月20日(日) (とやま環境フェア2013と併催) (3R推進月間)
- ・内 容 廃棄物の減量化やリサイクルの推進に関する関係者の理解を深め、ごみゼロ型社会の取組みを推進するため、ごみゼロ推進県民大会を開催した。大会では、表彰や活動紹介、園児による「もったいないばあさん音頭」のお遊戯、エコライフ宣言を行った。
- ・実 績 約200名参加
環境とやま県民会議会長表彰 (ごみゼロ・リサイクル推進功労者)
2団体、1事業所

<低炭素社会づくり>

①エコドライブ推進運動の実施

(ア)エコドライブの推進

- ・主 催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団 (富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・開催時期 平成25年4月～平成26年3月
- ・内 容 大気汚染の原因となる窒素酸化物及び地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出の削減並びに燃料消費量削減に伴う省エネルギー等の効果があるエコドライブを実践するため、講習会への参加や(公財)とやま環境財団が貸し出す燃費計の活用などによりエコドライブの方法及び効果について理解を深めた。
併せて、エコドライブとやま推進協議会が募集しているエコドライブ宣言に協力し、率先してエコドライブを実践した。
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1706/library/kakari2/eco/eco.htm>
- ・宣言者数 105,483名 (平成26年3月末現在)

②(イ)エコドライブ実践絵画コンテストの開催等

- ・主 催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団 (富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・開催時期 平成25年7月～平成26年2月
- ・内 容 エコドライブの実践を啓発する絵画や未来のエコカーの絵画などを幼児から小学生まで募集するコンテストを開催した。
また、経済産業省及び富山県の共催により開催された全国フォーラムにおいて、広く県民や企業にエコドライブ実践をPRするなど、エコドライブの一層の定着・拡大を推進した。
- ・実 績 エコドライブ実践絵画コンテストの開催
(平成25年7月20日(土)～9月20日(金)、応募作品数270点)
環境とやま県民会議会長賞 最優秀賞：2名
エコドライブとやま推進協議会長賞 優秀賞：4名

とやま環境財団理事長賞 優秀賞：6名、特別賞：10名
エコドライブ推進全国フォーラムin TOYAMAの開催
(平成26年2月9日(日)、約200名参加)

②「うちエコ診断による見える化」の推進

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団(富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・内 容 家庭から排出される温室効果ガス削減に向け、地球温暖化防止活動推進員等を「診断員」として養成・支援した。構成団体の会員自らが率先して診断員から「うちエコ診断ソフト」に基づいたア.省エネ設備の導入による温室効果ガスの削減量、イ.導入費用、ウ.導入後の節約経費等、省エネに向けた提案を受け、より実感(自分ごと)として、エコライフスタイルを「意識」から「実践」に結び付けた。
- ・実 績 うちエコ診断員21名のスキルアップ研修5回の実施、診断件数150件

③「家庭・事業所の節電・省エネ化」の推進

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団(富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・設置期間 平成25年4月～平成26年3月
- ・内 容 (公財)とやま環境財団に「地球温暖化対策・省エネサポートデスク」を設置し、節電・省エネ・地球温暖化対策に関する相談窓口を設けるとともに、節電・省エネセミナーを開催し、CO₂排出量の増加の著しい家庭やオフィス等の節電・省エネ化を推進した。
- ・実 績 省エネ診断：37事業所、相談件数：171件
節電・省エネセミナーの開催
(夏季：平成25年7月10日(水)、冬季：平成25年11月22日(金)、計約300名参加)

④地球温暖化防止県民大会の開催

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団(富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・開催時期 平成25年12月14日(土)(地球温暖化防止月間)
- ・会 場 サンシップとやま 福祉ホール(富山市)
- ・内 容 県民の地球温暖化防止への理解を深め、一層の取組みを推進するため、ウォームビズファッションショーや環境活動紹介、表彰等を行い、地球温暖化防止の普及啓発や取組みへの意欲の増進を図った。
- ・実 績 約200名参加
環境とやま県民会議会長表彰(地球温暖化対策推進功労)
1団体、1事業所
とやまストップ温暖化アクト賞表彰

2 個人、1 団体、2 事業所

⑤ ノーマイカー運動への参加

- ・主 催 富山県公共交通利用促進協議会
- ・実施時期 平成25年10月28日(月)～11月1日(金)
- ・内 容 公共交通の利用拡大と環境負荷軽減を目的に実施されるノーマイカー運動に参加することで、過度にマイカーに依存した生活を見直し、エコライフスタイルへ転換するきっかけとした。
- ・実 績 県・市町村統一ノーマイカーウィーク 延べ約830名参加

⑥ エコアクション 21 推進事業の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団(富山県地球温暖化防止活動推進センター、エコアクション21地域事務局)
- ・実施時期 平成25年4月～平成26年3月
- ・内 容 中小企業向けの環境マネジメントシステムである「エコアクション 21」制度の普及を図るとともに、「エコアクション 21 自治体イニシアティブ・プログラム」を実施し、導入を促進した。
- ・実 績 認証・登録：103 事業者(とやま地域事務局受付分、平成 26 年 3 月末現在)、イニシアティブ・プログラム：8 事業者

⑦ 住宅用太陽光発電システム導入補助事業の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団(富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・実施時期 平成25年4月～平成26年3月
- ・内 容 平成 21 年 1 月 13 日から開始した太陽光発電システム導入に対する補助制度を引き続き行うとともに、融資制度を設け、太陽光発電システムの普及を推進した。(県の補助金額：50 千円/件、補助件数：1,394 件)

(2) とやま節電・省エネキャンペーン2013

① 「とやまメガ節電所プロジェクト」の実施

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団(富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・内 容 県民、事業者が自らの節電の取組みを入力することで、ウェブサイト上にバーチャル節電所を建設する「とやまメガ節電所プロジェクト」を実施し、家庭、オフィス等からのCO₂排出削減や夏・冬の電力需要面の対策を推進した。
- ・実 績 プロジェクトへの登録状況(家庭：1,012世帯、事業者：107事業所、節電量：10,547kW)

② 「うちエコ診断による見える化」の推進(再掲)

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団(富山県地球温暖化

防止活動推進センター)

- ・内 容 家庭から排出される温室効果ガス削減に向け、地球温暖化防止活動推進員等を「診断員」として養成・支援した。構成団体の会員自らが率先して診断員から「うちエコ診断ソフト」に基づいた ア.省エネ設備の導入による温室効果ガスの削減量、イ.導入費用、ウ.導入後の節約経費等、省エネに向けた提案を受け、より実感（自分ごと）として、エコライフスタイルを「意識」から「実践」に結び付けた。
- ・実 績 うちエコ診断員 21 名のスキルアップ研修 5 回の実施、診断件数 150 件

③「家庭・事業所の節電・省エネ化」の推進（再掲）

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・設置期間 平成25年4月～平成26年3月
- ・内 容 (公財)とやま環境財団に「地球温暖化対策・省エネサポートデスク」を設置し、節電・省エネ・地球温暖化対策に関する相談窓口を設けるとともに、節電・省エネセミナーを開催し、CO₂排出量の増加の著しい家庭やオフィス等の節電・省エネ化を推進した。
- ・実 績 省エネ診断：37 事業所、相談件数：171 件
節電・省エネセミナーの開催
(夏季：平成 25 年 7 月 10 日(水)、冬季：平成 25 年 11 月 22 日(金)、計約 300 名参加)

④クールビズ、ウォームビズ、うちエコ！の実践

- ・主 催 環境省、環境とやま県民会議
- ・開催時期 夏季、冬季
- ・内 容 夏のオフィスのエアコン設定温度を28℃とし、涼しく快適に過ごすために軽装（クールビズ）を実践した。また、冬のオフィスのエアコン設定温度を20℃とし、暖房に頼りすぎず、快適に過ごすビジネススタイル（ウォームビズ）を実践した。
さらに、クールビズ、ウォームビズの取組みをオフィスから家（うち）の中まで広げて「うちエコ！」を実践した。

⑤地球温暖化防止のためのCO₂削減／ライトダウンキャンペーンの実施

- 「ライトダウンジャパン2013」
- ・主 催 環境省、富山県、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・開催時期 平成25年6月21日(金)～7月7日(日)
- ・内 容 夏至の日と七夕の2日間に、「電気を消す夜。地球を想う夜が、ちょっとステキになりますように。」をスローガンに、家庭の不要な電気の消灯や、安全面、防犯面等で支障のない範囲でのライトアップ施設の消灯への協力を

呼びかけた。

- ・実績 協力施設：479施設

(3)環境教育・環境保全活動の推進

①環境とやま県民会議総会、エコライフ・アクト大会の開催

- ・主催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・実施時期 平成25年6月22日(土)（環境月間）
- ・会場 富山電気ビルディング（富山市）
- ・内容 環境とやま県民会議総会を開催し、事業計画等を報告した。また、同日、エコライフスタイルを推進するため、エコライフ・アクト大会を開催した。
- ・実績 約250名参加

②エコライフ・イベントの実施

- ・主催 県内10市、富山県、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・実施時期 平成25年7月～12月
- ・内容 地域での取組みを推進するため、6月の「エコライフ・アクト大会」を皮切りに、県内10市において、地球温暖化防止やごみゼロなどのテーマに基づき、「エコライフ・イベント」を実施した。また、構成団体においては積極的に参加し、エコライフへの理解を深めた。
- ・実績 約31,000名参加

市	期間	テーマ	来場者数
高岡市	7月26日（金）	環境に対する意識の育成	10名
	10月31日（木）～	環境に対する意識の醸成	4,000名
	11月7日（木）		
	11月20日（水）	バイオマスの有効活用	19名
富山市	7月27日（土）	消費者が主役 行動しよう！地球への思いやり	870名
黒部市	8月25日（日）	エコライフスタイルの促進	3,200名
南砺市	9月8日（日）	市民のふれあいと地域の再発見	600名
魚津市	9月28日（土）	みんなつながっている～水・生物・地域・世代～	700名
滑川市	9月29日（日）	～とりくもう！広げよう！みんなで楽しむエコライフ！～	600名
射水市	10月6日（日）	未来につなごうエコのかけ橋	3,100名
小矢部市	10月26日（土）	地球温暖化防止	10,000名
	10月27日（日）		
砺波市	12月1日（日）	エコライフの推進	8,000名
氷見市	2月22日（土）	氷見の豊かな自然から水環境を考える	30名

③環境保全・環境教育に関する活動支援事業の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団(富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・実施期間 平成25年4月～平成26年3月
- ・内 容 (公財)とやま環境財団に環境保全相談室を設置し、各種相談への対応、幼児とその保護者を対象としたエコライフ教室及び小学生とその保護者を対象とした環境学習体験ツアーの企画運営を行った。
また、企業と民間団体等の連携・協働による環境保全活動を促進するため、「エコノワとやま交流会」を開催するとともに、県内で行われている様々な環境保全・環境教育活動について、ウェブサイト「エコノワとやま」を通じて情報発信し、環境保全・環境教育活動の拡大を図った。
- ・実 績 エコライフ教室：20回、環境学習体験ツアー：7回
エコノワとやま交流会の開催(平成26年2月12日(水)、約110名参加)

④とやま環境チャレンジ10事業の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団(富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・実施期間 平成25年4月～平成26年3月
- ・内 容 小学4年生(10歳)の児童が、家庭における10の取組みを設定し、10週間実践することにより、児童と家族の環境保全意識を高めた。
- ・実 績 県内全市町村で合計68校、児童3,297名

⑤星空の街・あおぞらの街推進事業の実施

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団(富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・実施期間 平成25年4月～平成26年3月
- ・内 容 大気汚染のない清澄な大気への関心を深めるとともに、身近な環境保全活動の実践への契機とするため、星空フォーラムや写真絵画コンテストを開催した。
- ・実 績 星空フォーラムの開催
(平成26年10月19日(土)、約150名参加)
ほしぞら・あおぞら写真絵画コンテストの開催
(平成25年6月21日(金)～9月12日(木)、応募作品数813点)
環境とやま県民会議会長賞 最優秀賞：4名、優秀賞：8名
とやま環境財団理事長賞 優秀賞：8名、特別賞：10名

⑥環境教材等の配布

- ・主 催 (公財)とやま環境財団(富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・内 容 財団への寄付金を活用し、環境教育向け教材を配布し、環境教育の推進や地球温暖化問題に対する理解や実践を促した。